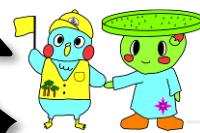




学校だより 第2号

5月 植の苗木



木城町立みどりの杜木城学園

令和6年 5月15日(水)
文責：松ノ木 陽平

運動会に向けて

4月18日(木)に全学園生が体育館に集まって運動会に向けて結団式を行いました。そこで、団ごとに集まって、団長からの意気込みが発表され、赤団・白団ともに優勝を目指して練習がスタートしました。練習は基本的に学年ごとに行われますが、1～9年全員で行う全体練習もあります。全体練習では、実行委員会が全学園生に指示を出し練習を進めています。また、両団とも団長、副団長、リーダーを中心に団員をまとめようと工夫を重ねています。そして、昼休みには、団ごとに集まって応援練習を頑張っています。最初は、リーダーとして団員をまとめることの難しさを感じていたようですが、日を追うごとに成長が見られるようになってきました。この機会に、主体的に行事に取り組むこ



とのよさを知ってほしいと思います。運動会は5月19日(日)開催予定です。ぜひ、学園生の頑張る姿を見にいらしてください。※雨天時は5月21日(火)に延期です。



交通安全教室

4月17日(水)に交通安全教室が行われました。第1ステージでは、グラウンドに描かれた横断歩道を左右しっかりと確認をして、手を挙げて横断する訓練を行いました。第2・第3ステージでは、高鍋警察署より講師を招いて、登下校で気を付けることや自転車の点検や乗り方などの講話をしていただきました。また、6年生が、木城町長、高鍋警察署長よりハンドアップマイスター第2期生に任命されました。それを受けた代表学園生が、横断歩道では、しっかりと手を挙げて、登校班員の安全を守ることを誓いました。マイスターを証明するステッカー



は昨年度のマイスター第1期生である7年生から贈呈されました。先輩から後輩へとハンドアップの精神が受け継がれ、学園生が交通安全への意識を高めるよい機会をいただきました。



参観日、PTA 総会

4月26日（金）に今年度初めての参観日がありました。

たくさんの保護者に見守られる中、子ども達は一生懸命授業に取り組んでいました。先生方も、子ども達の興味を引くような授業の工夫をしており、中には保護者の方も授業に参加するという場面も見られました。また、参観日と懇談会が終



った後に、PTA総会が開かれました。事前に議案についての質問を受け付けていたこともあり、スムーズに会を進めることができました。学校の教育活動は、保護者の方のご理解とご協力があって成り立つものですので、今後もPTA活動へのご協力をよろしくお願ひいたします。

学校運営協議会

5月1日（水）に、地域の学校運営協議委員の皆様方と学校運営協議会を行いました。協議会では、地域と共にある学校を目指して、本年度の地域と学校が協働して取り組めそうな教育活動について話し合いを行いました。地域の課題や学校の課題について充実した話し合い活動になりました。具体的には、子ども達の学びの場を学校外に広げるためできること、もっと多くの子ども達に地域の行事に参加してもらうための取組、子ども達に「自力登校」を促すための取組などについて話し合いました。話し合いの結果をもとに、今後学校と地域が協働して行う教育活動を実践していく予定です。



5月8日快晴、清々しい朝、出勤と同時に町内探検に比木神社方面に歩き出た。小丸川の清流の音を聞きながら、まだうる覚えの校歌を口ずさみ新緑の尾鈴山も見つづ歩いた。七時の町内放送が聞こえ、黄色い旗を持った地域の見守り隊の方が既に立っておられ、挨拶とちょっとした会話を交わすことができた。

比木神社を過ぎて橋を渡る頃には、額に少しばかり汗が出てきたが、川を渡る風に心地よさを感じた。そこからの折り返しの道沿い新緑の涼しさも、日陰と違つて太陽の眩しさ熱さが感じられた。対岸には集団登校の学園生が小さく見え、元気歩いていた。仁君谷の看板。どういう謂われがあるのか知りたくなった。途中道路左手に「木城村古墳」の看板があり、どこにあるのか行きたくなつた。そう思つていると自転車が一台通り過ぎ「おはようございます！」の元気な声、私も思わず「おはようー」「どこから来た？」と大きな声を聞いた。「北山です！」と我が学園生は応えてくれた。嬉しい瞬間だ。

役場近くまで来るといつも子供たちの交通安全指導をしていただいている方もとも言葉を交わすことができた。そして、橋を歩き渡り、黄色い旗を持った教育長そして町長、交通指導員の方に感謝の挨拶を交わすことができた。そして多くの笑顔の学園生たちとも大きな声で挨拶をすることことができた。

木城の豊かな自然、人々の温かさの中で、こんなにも素晴らしい五月の朝を過ごすことができた。（校長）

耕心コーナー 「素晴らしい木城に感謝！」